

(専門基礎分野)

授業科目	社会福祉	講師	外部講師	単位数
				2
学習目標	1.社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する。			時間数
				30
				学年
				3
				時期
回数	主題	学習内容	授業方法	講師
1~2	社会福祉・社会保障の定義と理念	1.日本の保健医療福祉活動の基本方向 2.社会福祉の歴史 3.社会福祉とは 4.社会保障の概念・目的・機能 1)自立支援 2)ノーマライゼーション 3)相互扶助 5.社会保障の体系 6.社会保障の内容	講義	外部講師
3~5	社会福祉諸法の関連法と施策	1.社会福祉法 2.生活保護法 3.児童福祉法 4.身体障害者福祉法 5.知的障害者福祉法 6.老人福祉法 7.母子及び父子並びに寡婦福祉法	講義	
6~7	社会福祉行政	1.地域福祉計画 2.社会福祉の民間活動 3.老人保健福祉行政 4.職員、機関、施設	講義	
8~10	社会保険及び公的給付の沿革と概要	1.社会保障の変遷 2.医療保険制度 3.介護保険制度 4.年金制度 5.その他の社会保険制度 1)雇用保険制度 2)労働者災害補償保険制度 3)児童手当 4)児童扶養手当・特別児童扶養手当 5)障害者手当	講義	

11～13	社会福祉・社会保障の現状と将来	1.福祉と看護の関係 1)退院後自宅療養する場合の訪問看護利用 2)社会福祉施設における協働 3)在宅における訪問看護と訪問介護によるチーム援助 4)地域包括支援としての連携 2.地域福祉・公的介助論 3.母子・児童福祉、障害者福祉	講義 演習	
14	保健福祉医療の連携とマネジメント	1.連携の場 2.エンパワメント 3.人権擁護 4.福祉と看護の連携の実際	講義	
15	評価	単位認定試験（45分） まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3]社会保障・社会福祉	